木場公園クリニック

Since 1988

Kiba kouen Clinic

不妊治療にはこころのサポートも重要であるため、様々なこころのケアも積極的に取り入れ、患者サポートを行っています。

不妊治療を行う場合、女性は婦人科へ、男性は泌尿器科へ行って診てもらうことが一般的と思われています。しかし、不妊症はカップルの病気であり、女性・男性を区別することなく夫婦を診ることを大切に診療を行っています。また、より質の高い医療の提供を行うために ISO9001 を取得し、日々安全なシステムの構築と真の患者満足を具現化できるよう、スタッフが一丸となって不妊治療に取り組んでいます。

吉田 淳 院長
Atsumi Yoshida

愛媛県松山市生まれ。愛媛大学医学部卒業。
不妊治療を学ぶためにアメリカや日本国内で見学・研修を重ねてきたが、どこの施設でも妻のみの治療で夫の顔が見えないことに疑問を感じ、自ら東邦大学泌尿器科で男性不妊症を学んだ。1998 年に女性不妊症･男性不妊症の両方を診察できる、木場公園クリニックを設立した。

［資格］
- ●医学博士
- ●日本生殖医学会認定生殖医療専門医
- ●日本人類遺伝学会認定臨床遺伝専門医
- ●日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医

TEL **03-5245-4122**

受付時間
午前　8：30～12：00
午後 13：30～16：30

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日	祝祭
午前 8：30～12：00	○	○	○	○	○	○	―	○
午後 13：30～16：30	○	○	○	○	○	―	―	―

※ 6F ART 診のみ火曜・木曜 13:30 ～ 18:00
土曜日は 9:00 ～ 14:00、14:30 ～ 16:00

ADD 〒135-0042
東京都江東区木場 2-17-13 亀井ビル
交通：東京メトロ東西線・木場駅 3 番出口より徒歩 2 分

治療のスタートは充実した勉強会から

治療を希望する夫婦のために自由参加 (無料) の ART 説明会を月に 2 回定期開催。医師と看護師、培養士が治療の流れと方法、ポイントとなる採卵や胚移植の話、卵子や精子についてと不妊の原因、そして年齢と妊娠や妊娠率について、また治療にかかる費用など、患者が知りたいことと必要なことを充実した内容で丁寧に説明をしています。男性不妊治療にも定評があることから、夫婦ともに診療のできる不妊治療施設として、いち早く質の高い診療を築いています。

データからわかる診療のようす

体外受精の患者と一般不妊治療の患者は約半々で、いずれの治療方法においても確実に妊娠結果を出しています。妊娠率では 3 対 2 の割合で体外受精の方が一般不妊治療を上回っています。体外受精での治療周期は、同月経周期に胚を戻す新鮮胚よりも、採卵以降の月経周期に凍結した胚を戻す凍結胚移植が多く、今後はさらにこの傾向は強まっていく模様です。誘発方法は、アンタゴニスト法と低刺激法がメインでほぼ全体を占めています が、ロング法、完全自然周期法も行っています。

得意とする診療

患者さんが体外受精を受ける原因で多いのは、男性側では乏精子症や無精子症で、女性側では卵巣機能不全や卵管閉塞、内膜症や機能性不妊 (原因不明) など。これに対して、夫婦ともに診療できるメリットを活かし、男性不妊では大きな実績をベースに治療を行い、女性には個別卵巣刺激で OHSS を予防しながら安全で安心できる採卵、胚移植を行うこと、また全般に於いて心のケアにも細やかに配慮し、最善を尽くして結果を出すことが本来ある姿勢と考え、実践することです。

妊娠判定と妊娠の様子

患者の平均年齢は 38 歳で、最高齢は 56 歳とかなり高いのが現状です。男性に不妊原因がある場合、一 般的に妻の年齢は若い傾向にあり、木場公園クリニ ック・分院でも同様の傾向がみられるようですが、その中でも一定水準の妊娠率を誇ります。体外受精での妊娠判定は、初期胚移植をした場合には移植から 14 日後、胚盤胞移植で 11 日後に行い、妊娠後は 8 週まで診て産科に転院となります。このときは紹介状を書き、産科とは連絡がとれる状態ですので、安心して出産に臨んでください。

主な連携・紹介施設など

妊婦健診・分娩施設／お住まいの地域の施設
婦人科検査・外科／お住まいの地域の施設
内科系疾患／伊藤病院 など
助成金行政窓口／お住まいの地域の役所・保健所

体外受精の診療実績

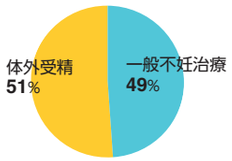
スタッフ

医師	看護師	胚培養士	検査技師	相談スタッフ	事務
8人	8人	8人	4人	2人	8人

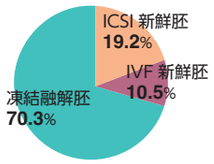
01 治療の状況

統計期間：2022 年 1月～2022 年 12月

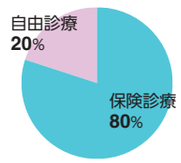
保険診療での治療の割合



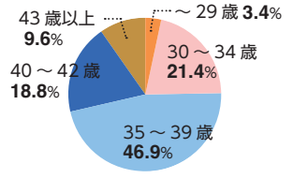
移植胚の割合



体外受精の治療における保険診療と自由診療の割合



ART 患者さんの年齢割合



保険診療、自由診療別 ART 臨床妊娠率

保険診療 移植あたり	30.6%
自由診療 移植あたり	33%
前年度の臨床妊娠率	35.3%

今までの治療実績

体外受精周期	出産数	最高齢出産
23,832 件	5,810 人	53 歳
(1999-2022)	(2001-2021)	

実施している受精方法

- ☑ c-IVF
- ☑ ICSI
- ☑ スプリット ICSI
- ☑ レスキュー ICSI
- ☑ IMSI
- ☑ PICSI
- ☑ SL-ICSI
- ☑ PIEZO

当院で体外受精の原因で多いもの

男性因子　卵管因子　排卵因子

c-IVF（通常媒精）、ICSI（顕微授精）、スプリット ICSI（複数卵採卵出来た際、c-IVF と ICSI のどちらの媒精も行う方法）、レスキュー ICSI（c-IVF 後に未受精と判断した卵子に対する顕微授精）、IMSI（高倍率で精子を観察し、精子選別を行う ICSI）、PICSI（ヒアルロン酸を用いて精子選別を行う ICSI）、SL-ICSI（紡錘体を可視化し行う ICSI）、PIEZOICSI（微細な振動により細胞破膜を行う ICSI）

02 治療をはじめる前に

体外受精の説明について

形式など	● web セミナー
説明するスタッフ	● 理事長
ARTの資料	● ART についてのスライド、医師から指示された排卵誘発方法のスケジュール
説明会の様子と日程	web にてのセミナー　約1時間　月／２回

相談窓口

形式など	● 初診時、ステップアップ時
対応するスタッフ	● 不妊相談士、看護師

03 採精について

自宅採精	院内採精
15.8%	84.2%

実施している精子回収術
連続密度勾配法
スイムアップ法
TESE、MD-TESE

精子回収術の対応場所
自院、連携施設

04 採卵について

採卵時の麻酔	静脈麻酔（全麻含む）、局所麻酔、無麻酔
採卵時スタッフ	●医師 ●看護師 ●メディカルアシスタント ●培養士
採卵後の休憩	約 30 ～ 120 分

05 培養室について

培養室の衛生管理と取り組み

- ☑ 入室時の手洗い
- ☑ 専用衣服・帽子・マスクの着用
- ☑ 空調管理
- ☑ インキュベーターなどの培養器の管理
- ☑ 清掃や衛生
- ☑ 作業マニュアル（更新含む）
- ☑ 勉強会や検討会がある
- ☑ ミスが起きた時の対応はすぐにとれる

培養器

☑ 集合型　☑ 個別型　☑ タイムラプス型

培養室スタッフ

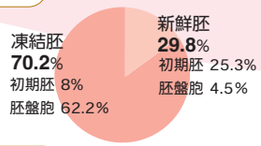
専任培養士 6人　補助アシスタント 1人　［管理責任者］長谷川 久隆

凍結保存

胚　精子　卵子　［延長の連絡方法］窓口またはお電話

06 胚移植について

移植胚の状態



黄体管理（薬剤）

服薬　貼付　腟剤　注射

07 妊娠について

妊娠判定はいつ？	4 週
分娩施設への紹介状	100 % 書いている

08 転院時の胚移送と受け入れ

移送ができるもの	受け入れができるもの
☑ 胚　☑ 精子　☑ 卵子	☑ 胚　☑ 精子　☑ 卵子

移送する方法

☑ 患者自身　☑ 移送業者

09 保険診療対象外の患者さんについて

（ケースとして多いのは?）

1 位 自由診療で体外受精を続ける
2 位 一般不妊治療を続ける
3 位 治療を辞める

10 取り扱いのある診療について

（各診療項目の説明は P.40 を参照ください）

☑ PICSI	☑ ERPeak	☑ SEET 法	☑ PRP
☑ IMSI	☑ EMMA ／ ALICE	☑ 二段階移植法	☑ 不育症検査
☑ タイムラプス	☑ 子宮内フローラ検査	☑ タクロリムス投与療法	☑ 不育症治療
☑ ERA	☑ 子宮内膜スクラッチ	☑ PGT	☑ その他